

スマート生産サポート科

製造管理部門・情報部門やシステム開発の仕事

標準コース(6ヶ月)

導入訓練+標準コース(7ヶ月)

定員:15名

開講月:7月・1月

※7-1月開講は導入訓練コース受講者と合わせた人数

定員:2名

開講月:6月・12月

生産現場の制御機器等で発生するデータをネットワークで管理・利用するために、PLC・Java言語・ネットワーク・タブレット端末のプログラミングの知識・技能を習得します。これらの知識を身に付けて製造業の製造管理部門・情報部門やシステム開発を行う企業への就職を目指します。



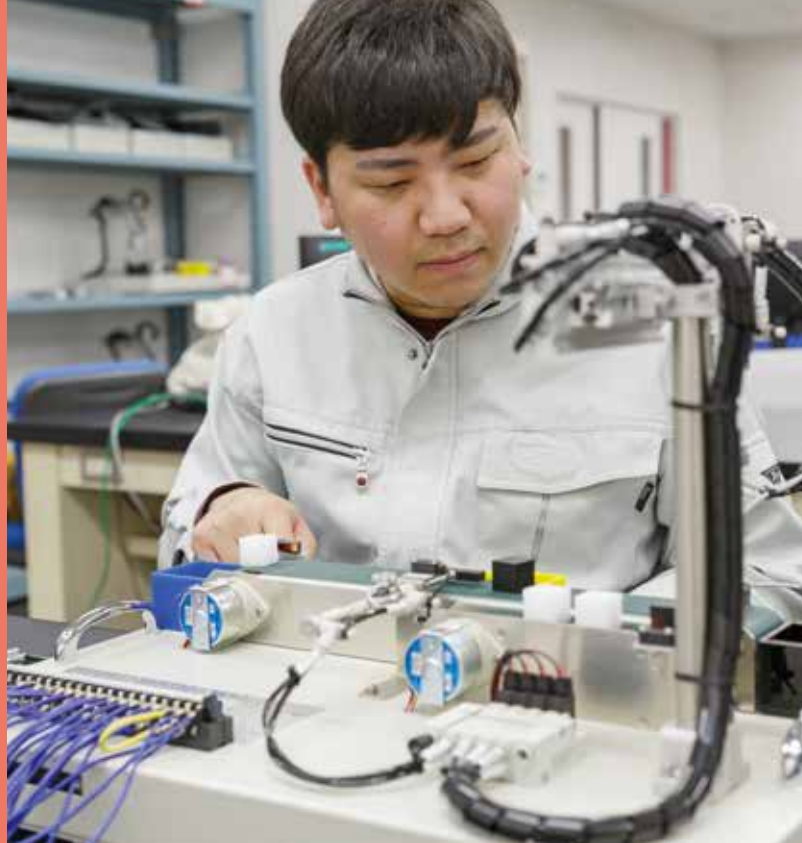
生産支援サーバ
構築技術



多機能通信端末デバイス
制御プログラミング



工場内ネットワーク
構築技術



工場内ネットワーク構築技術

カリキュラム

工場内ネットワーク 構築技術	生産システムで機器を制御しているPLC(Programmable Logic Controller)をネットワークに接続するための技術、工場内のネットワーク構築に関する技術および関連知識を習得します。
生産支援サーバ 構築技術	TCP/IPを用いたネットワークを構成する要素とサーバー操作に関する技術および関連知識を習得します。
生産支援情報 発信技術2	生産管理システムの入力画面(フロント・エンド)を開発するためのGUIツール(VisualBasic等)および関連知識を習得します。
生産支援システム 構築技術1	生産管理システムとしてのデータベースに関する技術および関連知識を習得します。
生産システム制御 開発技術	オブジェクト指向言語(Java等)を用いた、生産制御システム開発に関する技術および関連知識を習得します。
多機能通信端末デバイス 制御プログラミング	生産設備システムを構成する機器の多機能通信端末(スマートフォン・タブレットPC等)から、各種デバイスを制御するための関連技術を習得します。
生産支援Web アプリケーション開発1,2	生産管理システムでサーバに蓄積されている情報を活用するための、サーバサイド(バックエンド)、クライアントサイドのシステムを開発するための技術および関連知識を習得します。

どんな仕事に就くか

- プログラムを作成する業務
- ソフトウェアを設計・製作する業務
- クライアントとの打ち合わせや営業などの業務

主な職種

- システムエンジニア(SE)
- ネットワークエンジニア
- テクニカルサポート
- システム開発者
- プログラマ(PG)
- ヘルプデスク
- カスタマーエンジニア
- ソフトウェア開発技術者
- 情報システムに関するコンサルティング 等

修了生の
主な就職先

(株)ツダ、(株)コロナ、日本ビール(株)、(株)アイエンター (順不同 敬称略)

- 電話対応などのサポート業務
- 製造業などの生産現場へのシステム導入を企画する業務

任意取得可能資格

- MCP(Microsoft Certified Professional)
 - LPIC(Linux Professional Institute Certification) Level1
 - CCNA(Cisco Certified Network Associate)
 - OCJ-P(Oracle Certified Java Programmer) Bronze
- ※入所時期により訓練期間中に受験できない場合があります。



Instructor's
voice

受講生の声

一人で就活しているときは自力で情報入手し、ネットで調べながら応募書類を書き直していましたが、受講中は定期的に求人情報を告知され、情報を入力しやすいし、視野が広がります。応募書類や面接練習も人に見てもらえるので助かります。

(20代女性)